

This copy has been provided by the UBC Archives [or UBC Rare Books and Special Collections] and is to be used solely for research or private study.



JAPANESE-CANADIAN  
COLLECTION

PLEASE RETAIN  
ORIGINAL ORDER

II

FOR RESEARCH PURPOSES ONLY  
NOT TO BE REPRODUCED WITHOUT PERMISSION  
Rare Books & Special Collections and University Archives  
The University of British Columbia



祖國

広がる

British Columbia Security Commission

VANCOUVER, B. C.

May 14 1942

COMMISSION PERMIT N° 01054

JAPANESE REGISTRATION No. 05162  
05161  
07672  
13043

This Permit authorises: Mr. Iwakichi SUGIYAMA #05162, his wife, #05161,

and their four sons, Shunichi #07672, Shigeru #13043, and Shohei and Ryoji.

2704 Trinity Street, Vancouver, B. C.

to travel in accordance with the provisions of Orders-in-Council Nos. P.C. 1665 and 365.

to farm property situate at BARNHART VALE, B. C. (approx. 16 miles from Kamloops)

andresinterab They must travel by rail, leaving Vancouver by May 25th, and must

not re-enter the Restricted Area. This Commission assumes no responsibility for

the cost of education of children of school-age. They are to travel at their

~~These~~ own expense, and are to be self-supporting.

(Signed)

For British Columbia Security Commission.

NOTE Shunichi SUGIYAMA is not travelling on this permit, but has permission to remain and complete his Matriculation Exams at Britannia High School, and will travel later.  
This Permit not valid unless signed by one of the following authorised signatories:

AUSTIN C. TAYLOR.....	Chairman
F. J. MEAD.....	Member
JOHN SHIRRAS.....	Member
GRANT Mac NEIL.....	Secretary

British Columbia Security Commission.

FOR RESEARCH PURPOSES ONLY  
NOT TO BE REPRODUCED WITHOUT PERMISSION  
Rare Books & Special Collections and University Archives  
The University of British Columbia







祖国の再発見

広がる青少年交換訪問

新しい友と連帯感強める

カナダ百年祭の記念事業の一つに「青少年交換訪問計画」というのがある。大西洋諸州から西部諸州へ、太平洋岸から五大湖地方へ、英語地域から仏語地域へ、北部の準州から大都会へと、高校生たちを旅行させ国士に対する愛情

と道柄感を養おうというものだ。

旅費（一人平均百四十ポ）は百年祭委員会が負担し、滞在費は受け入れる州がもつ。高校単位で二十四人のグループをつくり、二人の先生が付き添って訪問先で一週間滞在して民宿し、見学したり、

地元の高校生と話し合う。百年祭に送られて六四年からスタートし、個人的な協力によるものも含め、すでに約三万人の高校生が「自分の国のなかの新世界」を歩見し、新しい友人をつくった。

「ケベックの家族の口になっ

て話したり、歌ったり。私のフランス語はアヤフヤだ、向こうの英語もへんだったけど、そんなことは問題じゃなかった。フランス系カナダ人は「すばらしい」とBの州の英系少女がいう。また大西洋岸のサスカチワン州から大西洋岸

ある。カナダは最初、ケベックを中心としたフランス植民帝国だったのを、英國が征服した。英國はケベック州中心にフランス系文化の存続を許したが、政治経済の主導権はガチリにきり、仏系市民は

このような各地方をまとめ、**四邑(四三・八邑)と仏系(三〇・四邑)**の協力関係を確立すること。その意味で青年祭は国民の心の中の「第二の国づくり」の出発点でもあるわけだ。

える。日本領事館で雇ったバリカ  
らきたばかりのお嬢さん、電話の  
相手が伝来とわかって安心して愛  
しはじめたら「すみません、フ  
ランス語で」といわれてボカンと  
したという。

This image shows a blank page from a ledger or notebook. The page features several horizontal ruling lines. At the top, there are some faint, handwritten markings that appear to be "E", "F", and "G". Below these, there are two distinct horizontal lines, one of which is slightly thicker than the other. The rest of the page is mostly blank, with some very light, illegible handwriting visible near the bottom edge.

一月一日午前零時、カナダ全土にわたって鐘の音とともに「カナダの一年間の色」とりまじりの行事が始まった。百年前の一八六七年七月、イギリス、ケベック、ニュージャージー、オントリオの四州が連邦を以て自給自足としての第一歩を踏み出した。二世紀の歩みを振り返り、さうの発展を誇うマンモス行事である。各省州府、地方自治体、各自治会を宗、思い思いの趣向をこらしている。

ライトは連邦政府、ケベック州

々の都市と姉妹関係の横濱(バンク  
 路路(B・C・Hバーナビー)・ウロ(B  
 ーウエストミンスター)三市を鑑  
 日加の結びつきを鐘  
 一九二六年ロンドンでの英帝國議  
 カナダと自国領を完全な主権國と  
 の英連邦が形成され、外交權を得た  
 が、最初に公使を交換した国は、隣  
 國(一九二三年)であり、その後日  
 本のある英國に議定書勅官を派遣(一  
 九二三年)と公使を交換(一九二  
 三年)したが、いわば「特殊關係」にある  
 三國のつぎにカナダが公使を交換し

はかならぬ日本（二）  
太平洋をはさんで打ち鳴  
の鐘」の音には、こうし  
結びつきがあらわれてい  
レスブリッジの日本庭  
一（約一万六千平方ど）  
久保博士の設計になる  
芝を日本古来の庭樹の五  
つにし、中央に数寄屋  
が、植木や石材などは全  
日本的味のあるもの  
ウィニベグのバン・ナ  
タジマ建設、サスカチ

元年（一八七〇年）で、  
 設立された「青年泰  
 和」に加入の浅からぬ  
 たわねだ。  
 國は広さ四一七カ  
 町、大阪府立大学  
 石水竹、橘、  
 つの要素をモチー  
 フに配置したものだ  
 ナタ産のもので、  
 を造った。  
 ワンタム競技会ス  
 メリカンジャイ  
 ワン都市リジャイ  
 大衆が  
 カンタロット  
 のカルガリで  
 美術学生に開  
 大庭園を共同

トンの百年祭図書館建設—でも記念建設計画や、百年祭を定めたが、こうした工事を聞いて聞かれ、そのへんに美術学生や町の芸術家の「カニ舞放」、しかも不思議な調子で歌われている。

参加する芸術祭

キーの登り口アルバノ州は、そんな場面をいっばいに放して、ユエと資金贊助の制作させていた。二、三十人お

外景  
百  
共  
り、  
て、  
つ  
「

面を分担し、相談し合い、手伝い合  
し、字型の大壁画を築き、そうを描きあ  
へ、通行人が立ち止まれば批評し  
買収したり、注文をつけたり――「  
両派」の真面目を見た思いだった。  
建築家にはエキスポを含めて、多々の  
壁画の来賓が予定され、美術展のス  
クールもある。だが、もっと「カナダ  
」は、大衆参加の芸術祭であり、通  
常の展覧会キットと違ふところがある  
。その歴史上のエピソードをおおし  
く、再構成で脚本、演技指導を責

「目でみるカタナ史」を全うするのが「百年祭列車」。十五の歴史会」で、B.C.州百年祭案かの「百年祭プルヘッダトリアから発車して八十三は鉄道が通っていない」とはトレイラーをつらねた「百年」が八組、七市の市町村を世界の人々を目撃する。ついで、一時間余の天然色

各都市へ「走る展覧館

「公食」だと  
いわれ。  
「観覧会」  
園に赴いて回  
園連絡の「走  
をすまじは  
」の「ピク  
都市を回る  
八台の超大型  
年余キ、ラバ  
回ってを。  
らおつこつ  
下町  
入

四エ  
カ一の  
日本庭園作

レスジブ 日系市民に敬意表して

[illegible]

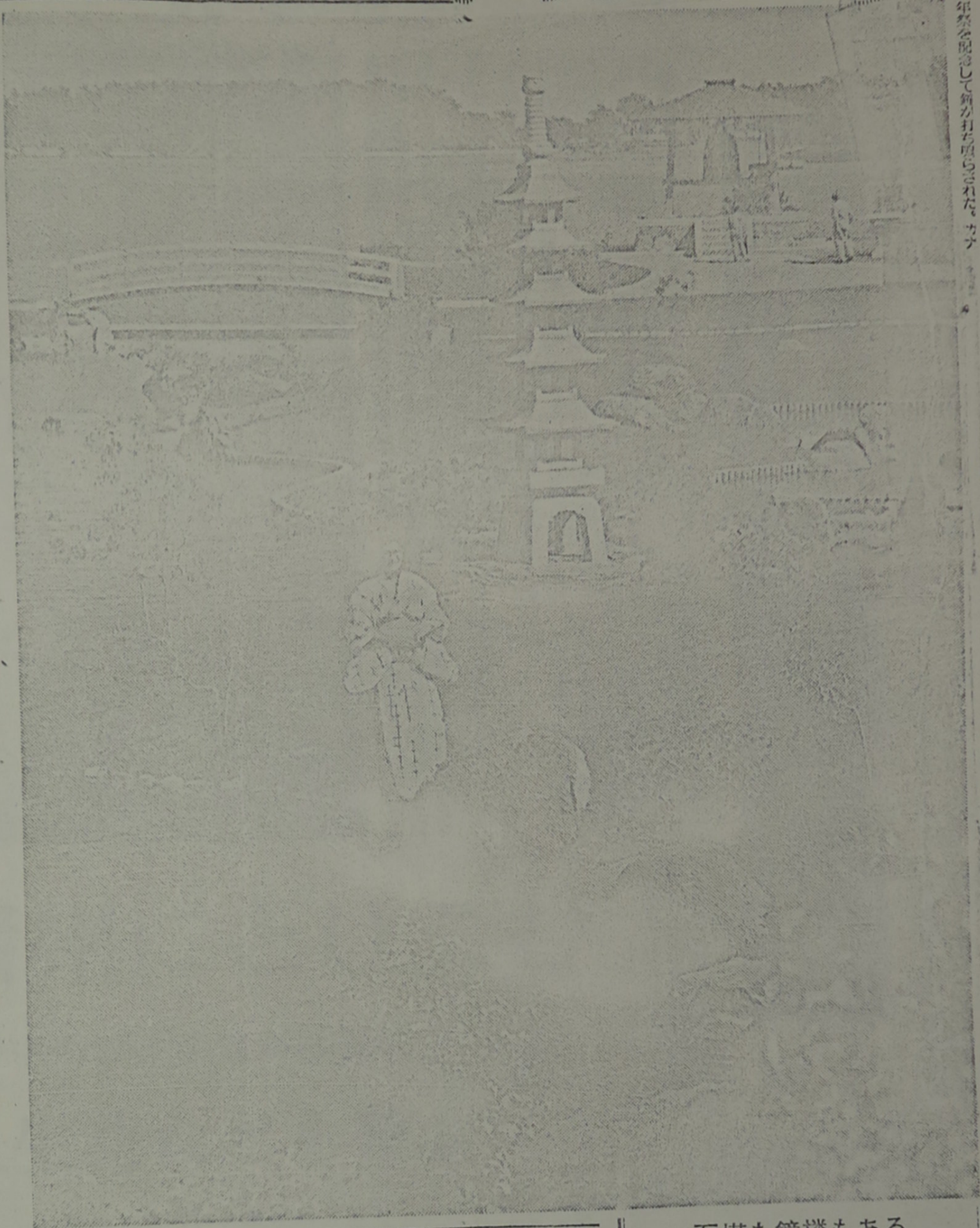
10

個人、団体の計划も無き



# 百年祭色とりどり

EXPO



年祭を祝して舞が打ち鳴らされた。カナ



「子供のころの私が  
はじめて歌を聴いた  
のは奥さんの家で先  
生に『春がきた』を教  
えていただいたときで  
す。きょう口を返して  
に私がご先祖を敬わ  
る」と  
と同じ『春がきた』  
のタクトを執った。写  
真。会場は大層とな  
り、そっと息をのめ  
る人たちがいた。

## 「春がきた」大合唱

活躍する「三世合唱団」

百年祭で大活躍をみせている  
のがトロントの日系カナダ人  
女による「三世合唱団」だ。市  
内で難波商を営んでいるハリー・  
野氏が指揮・指導し、放浪に出た  
り演奏旅行も計画されている。エ  
キスボから山崎愛蔵があった。  
生が夫人とトロントを。したと  
き音楽人会へ入歓迎会  
を開いた。先に移っ  
て三世合唱団も出演し  
たが、臨時若者は最  
後に先生夫人の壇上に  
引っぱらった。

## 石塔も鐘楼もある

レスブリッジの「百年祭記念・日加友好  
園」日本風が大きなカナダの自然にとけこ  
んで新しい味をだしている。レスブリッジ  
はカナダで三番目に日系市民が多い。写真  
のお嬢さんもその一人である

個人・団体の計画も無数だ。『日加  
園』に旧知の紳士をたずねたら、手をや  
めてロンドン（カナダではロンドン・パ  
リが隣り合っている！）の教区におさ  
まっていた。百年祭記念の教会設計を  
引き受けたのだという。建設予定地に  
空を借り、その地下室を模様がそっくり  
世にしていた。  
「園内は最初ひっくり返る予定だ。なれる  
とこの方が利便的という。土い教会  
しか知らなかったが、これにはいい地になっ  
た。新築の教会の設計も、それどころ  
手直ししたよ」  
ことは『百年祭ちゃん』にまわれる  
予定だ、と彼はいった。



各界で氣をはく日系市民

それ等の日帝は閉鎖的、孤立的で、他の人種と反目し、よい職業も得られず、おきには排日ムードで、心ある人は日本人社の経営スラム化を心配し、ロッキン山脈を越えて東部に新天地を求めようと主張していた。しかし日帝といたてをねになかなか踏み切れず、東部の諸州に積極的に進出する気配があつたわけがなく、なかなか実現できないでいた。それが戦争のために強行された形となつたわけだ。

「背水の陣」をしく

東部諸州にとけこむ

## 戦争中の強制移住が転機に

柔道、生花なども普及

大学教授も十指に……

律家、医、建築家、芸術家  
会社経営など各方面に活躍して  
いる。リジャイナの新しい大衆  
キャンパスは、日本建築家イ  
三氏の設計だという。

高まる日本語熱

人種のモザイク

「アメリカは人種のモザイク、カナダは人種のモザイク」といわれる。米國は移民をすべて「米國標準語樣式」に同化しようといふのに、カナダは各人の人種的素地、其所を重し、とり入れようとするといふ。三〇・四割というフランス系血の存在が、この國を特徴づけた。ところが、英系、仏系に限らず、今や各種グループの人たちも、國を築つてきている。バンクーバーの市庁で、五月の日本文化祭が行なはれてゐる。五月の日本文化祭は、毎年「上野公園」で開

「移民でゐる人にもそんな調子がみえる。世話になるのは当然だといふた……」

「それゆゑ、移民でなくてはならない日本人は、どうも日本人をバカにしている。そのが氣に入らない。そのくせお役人やや役にはヘイコラしている。やうやう日本民主主義はホンモノじゃないのかな……」

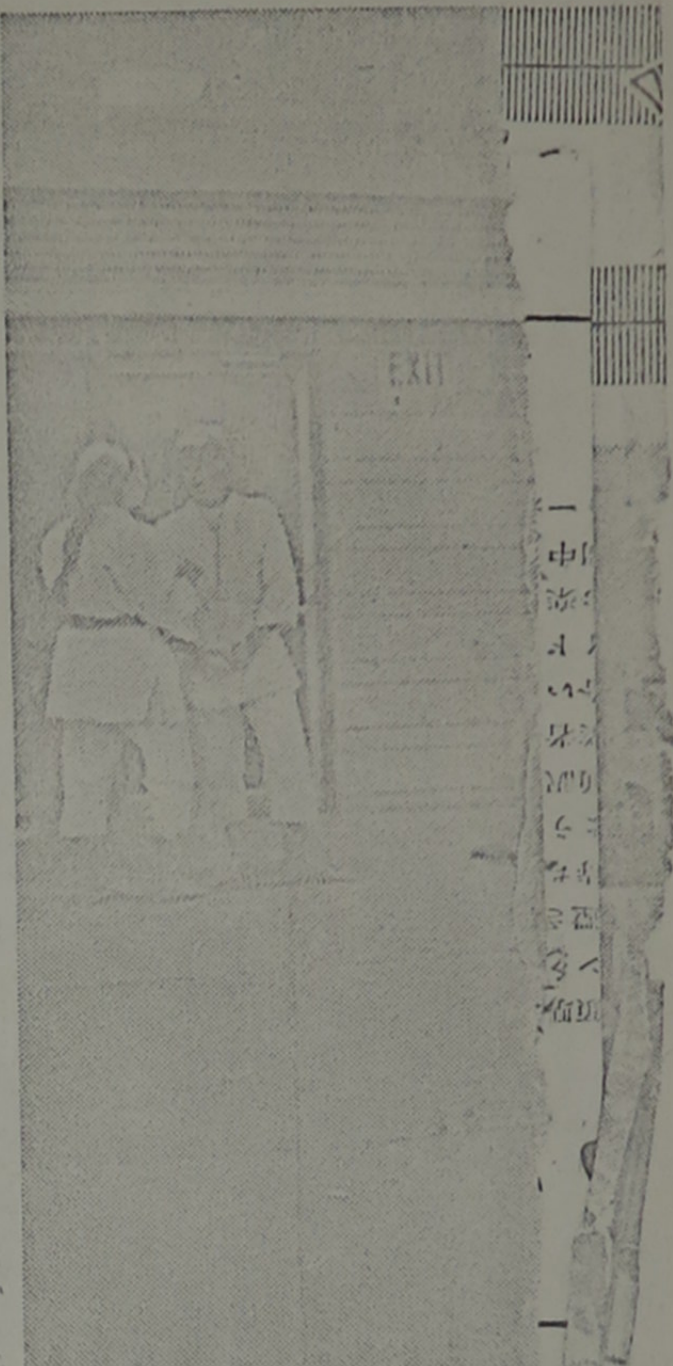
「老後は日本で」を清算  
一世たちも、いまでは「老後は錦をか  
つて日本で暮らす」式の考え方を清算し  
ムリな貯金はやめ「いまの生活」を楽し  
こにしているという。

ウィニペグ領事館の十年生忌パーティーで、岡崎領事から日米親善の模範活動として表彰された老婦人は「私は戦争が日米の私たちをウィニペグに連れてきたことに對て神さまに感謝しています。神聖で親切な日米市民がきて、ウィニペグの生活は昔なものになりました」とあやづした。じょうな感慨が日米市民の胸中をもぎぎっているところだ。

人種のモザイク

「アメリカは人種のモザイク、カナダは人種のモザイク」といわれる。米國は移民をすべて「米國標準語樣式」に同化しようといふのに、カナダは各人の人種的素地、其所を重し、とり入れようとするといふ。三〇・四割というフランス系血の存在が、この國を特徴づけた。ところが、英系、仏系に限らず、今や各種グループの人たちも、國を築つてきている。バンクーバーの市庁で、五月の日本文化祭が行なはれてゐる。五月の日本文化祭は、毎年「上野公園」で開





一中、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

# あなたも住めます

日本人のカナダ移民の間は、この数年間、大きく開かれた。いまだに規定上、欧州諸国と全く同等だ。

「三月になったら、もう一人移民官が着任します。そうしたらい、皆さんに（東京銀座）でもよりよい機会をおはかりすることができ、また地方へも出ていけるようになります。」

「三月になったら、もう一人移民官が着任します。そうしたらい、皆さんに（東京銀座）でもよりよい機会をおはかりすることができ、また地方へも出ていけるようになります。」

## 語学力とやる気

### 技術者歓迎 人数制限なし

日本人のカナダ移民の間は、この数年間、大きく開かれた。いまだに規定上、欧州諸国と全く同等だ。

「三月になったら、もう一人移民官が着任します。そうしたらい、皆さんに（東京銀座）でもよりよい機会をおはかりすることができ、また地方へも出ていけるようになります。」

「三月になったら、もう一人移民官が着任します。そうしたらい、皆さんに（東京銀座）でもよりよい機会をおはかりすることができ、また地方へも出ていけるようになります。」

「三月になったら、もう一人移民官が着任します。そうしたらい、皆さんに（東京銀座）でもよりよい機会をおはかりすることができ、また地方へも出ていけるようになります。」

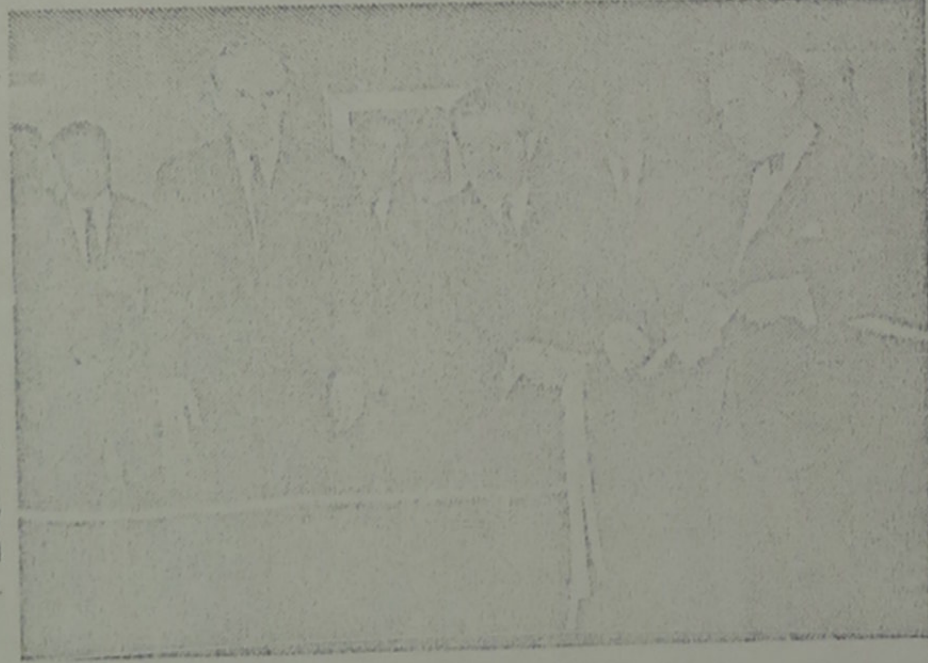
「三月になったら、もう一人移民官が着任します。そうしたらい、皆さんに（東京銀座）でもよりよい機会をおはかりすることができ、また地方へも出ていけるようになります。」

「三月になったら、もう一人移民官が着任します。そうしたらい、皆さんに（東京銀座）でもよりよい機会をおはかりすることができ、また地方へも出ていけるようになります。」

「三月になったら、もう一人移民官が着任します。そうしたらい、皆さんに（東京銀座）でもよりよい機会をおはかりすることができ、また地方へも出ていけるようになります。」

「三月になったら、もう一人移民官が着任します。そうしたらい、皆さんに（東京銀座）でもよりよい機会をおはかりすることができ、また地方へも出ていけるようになります。」

「三月になったら、もう一人移民官が着任します。そうしたらい、皆さんに（東京銀座）でもよりよい機会をおはかりすることができ、また地方へも出ていけるようになります。」



昨年九月にわたったカナダ大使館員部の開所式。右からモラン大使、マルシェン移民相、メイラス氏。

「現代の日本」に批判  
青木教授のお父さんが移民をしよう、というパンクパーの日本語学校では、ちやうど理事が問われて子供たちのクラスを指導するかどうかを問われていた。正現の学校のほか、二週間に一度は多すぎないかというのだ。結論は正面見送りとなったが、そのあと「現代日本論」に花が咲いた。

「現代の日本」に批判  
青木教授のお父さんが移民をしよう、というパンクパーの日本語学校では、ちやうど理事が問われて子供たちのクラスを指導するかどうかを問われていた。正現の学校のほか、二週間に一度は多すぎないかというのだ。結論は正面見送りとなったが、そのあと「現代日本論」に花が咲いた。

「現代の日本」に批判  
青木教授のお父さんが移民をしよう、というパンクパーの日本語学校では、ちやうど理事が問われて子供たちのクラスを指導するかどうかを問われていた。正現の学校のほか、二週間に一度は多すぎないかというのだ。結論は正面見送りとなったが、そのあと「現代日本論」に花が咲いた。

「現代の日本」に批判  
青木教授のお父さんが移民をしよう、というパンクパーの日本語学校では、ちやうど理事が問われて子供たちのクラスを指導するかどうかを問われていた。正現の学校のほか、二週間に一度は多すぎないかというのだ。結論は正面見送りとなったが、そのあと「現代日本論」に花が咲いた。